

まつお新聞

発行所
飯田市松尾公民館
編集人
松尾公民館広報委員会
印刷：龍共印刷(株)

松尾産の茶葉で お茶を作ろう！

茶摘みとシバチャ作り

6月5日毛賀区民会館で「松尾産の茶葉でお茶を作ろう」(主催松尾史学会・お茶と暮らしを考える会)が開かれた。



講師は阿南町出身で豊橋市在住の松下智先生。長年お茶の原産地について研究をしている。

松尾では初めてのこの企画に、自分で作ったお茶を味わいたいと集まった参加者は70人を超えた。豊橋からも松下先生が毎月講師をしている会のメンバーが10人参加した。

当日は史学会の秦野善彦会長と松下先生の話を聞いた後、毛賀区にある茶畑に移動して茶摘み。摘んだ茶葉を区民会館へ持ち帰り、大釜で蒸してゴザの上に広げた。これは古くからのシバチャや抹茶の製造方法で、普通のお茶と違う点は揉まらずに乾燥させることだ。その他にも、フライパンでお茶の葉を乾煎りし、手で揉んでまた煎ることを繰り返して乾燥させる「釜煎り茶」も作った。豊橋市からの参加者から「飯田のシバチャは有名ですよ」と聞いた地元松尾の参加者は「知らなかった」と驚いていた。

最後は全員でお茶とお菓子、毛賀ボランティアの会が準備した漬物を楽しみなが交流を深めた。蒸した茶葉は自宅で乾燥して飲むように参加者全員に配られ、次回の催しを期待する声とともに講習会は閉会した。

講師・松下先生の話

伊那谷のお茶は中世1200年頃、小笠原貞宗が京都から持ち帰ったとされている。日本では茶道が広まったのが1500年頃であるから、松尾のお茶の歴史はそれよりかなり古い。お茶を飲みながら喧嘩する人はいないように、心の交流と平和が茶道の原点であり、大きなテーマである。この地域では、おもてなしの心とともにお茶の文化が古くから一般化されていて、伊那谷のお茶文化こそ本来の茶道である。この大切な松尾のお茶の文化を知ること地域史の歴史も考えてもらいたい。また、お茶の樹齢は普通600年から700年、松尾のお茶の歴史を考えると、ここにはかなり古い樹があると思われる。ぜひ皆さんで探してほしい。

館長つらみ

こんにちは角田です

4月からまちづくり委員会が新しい組織としてスタートしたので、今回は公民館活動の紹介をさせていただきます。公民館には本館と分館があります。この両方がしっかり結びついて松尾地区の活動をしています。各地区では運動会やスポーツ大会などの体育活動、芸能祭や納涼大会などの文化活動を通して、地域にまとまりができてくるのです。

先日テレビを見てみると、東北の被災地に住む77歳のおじいさんが出ていました。元大工さんですが、「皆が戻ってこられるよう拠点を作るんだ」と何人かと共に先頭に立って、事業を起こすための小屋を建てていました。まったく他人同士ならこのように進まないが、地域で人と人とのつながりがあったからこそできるんだと思いました。

さて、新しいまちづくりの組織になる前は行政の分野は自治会、地域の人づくりの分野は公民館となっていました。今度はまちづくり委員会の中の公民館と位置付けられました。社会的教育機関とまちづくり委員会の一組織という二面性をもっていることとなります。インフラ的

公民館とは

なものに関わっていくのがまちづくり委員会であり、地域の活動でお互いのつながりを深め、人と人を結びつけていくのが公民館なのです。また学校で学べないことが公民館が伝え、地域を知った子供たちがやがて地域を支える大人になっていくってほしいと願っています。広報活動ではこれまでのまつお新聞を総まとめにして、しっかりと歴史に残し、その上になった新しいまちづくり委員会の広報誌になっていくことができればと思います。

原子力

茶の間で講義 聞く日本 (館長会より)

4期公民館長を務められた塩沢正人前公民館長が2月14日に他界されました。生前学校教育に熱心で、また公民館活動への貢献度も高い方でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

新しいまちづくり委員会 スタート

会長 宮下 吉彰

いよいよ新しいまちづくり委員会がスタートしました。

松尾地区では昨年度から

- ① 誰からも分かりやすい組織
- ② 資金の流れが明確で透明性が高い会計
- ③ 区との連携を一層はかるための情報の共有

の3つにおいてまちづくり委員会の見直しを行い組織作りを進めてきました。本年度は実践の年です。

まちづくり委員会の取組みは各部や地域の皆さんからのご意見をいただく中で進めていきたいと思っています。

松尾の皆さんと一緒に、松尾をより住みやすく明るい地区としていきますので、一緒にがんばりましょう。

まちづくり委員会の三役などを紹介します。



会長 宮下 吉彰(久井)

副会長 伊與部 昇(城)

副会長 佐々木寿夫(代田)

公民館長 角田 禎治(新井)

ふれあいひろば

松尾地区還暦の会

5月22日松尾地区で22年度中に還暦を迎えた約80人が参加し、松尾地区還暦の会が開かれた。11時から八幡宮でさるなる健康を願う祈願祭が行われ、その後松尾公民館まで歩いて移動。ホールで式典と写真撮影が行われた後、和室にて交流会が開かれた。

当日は、前日の夏日と比べものにならないくらい肌寒さで、祈願祭が始まる前から、交流会が終わるまでの間に雨も降っていた。今年には東日本大震災があったため、記念事業で集めているお金を義援金として募り、被災者に送ることにした。この会を期に今後も交流が続けられることを願い、2時半に閉会した。



キンボールの講習

5月8日、松尾小学校の体育館と校庭で分館役員対象のニュースポーツ講習会が開かれた。約90人の参加者により、ペタンク・囲碁ボール・ワンバウンドふらばるバレーボール・キンボールの4種目が行われた。ニュースポーツが初体験の参加者も多かったが、真剣な中にも笑い声が響き、良い汗を流した。

意見募集

まつお新聞に関してご意見をお寄せください。松尾公民館 TEL 22-0091



東日本大震災 義援金の中間報告

松尾自治振興センター 窓口受付 2,456,709円 (5月30日時点) 松尾地区まちづくり委員会 500,000円 松尾地区還暦の会 258,000円 引き続きご協力をお願いします。

松風

温故知新という故事成語は日常に定着した言葉だが、最近のベストセラー「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」に触れて、この言葉を考えさせられた▼ドラッカーは経営学の父とも呼ばれ、20世紀半ばから著書が多々あり、一貫して「組織の成功と人間を幸福にする事」を考えてきた。そのマネージメント論が今の日本に積極的に受け入れられているのである▼時代は激変ともいえる速度で移りゆくが、先人が経験と観察から導き出した普遍的な真理は、社会的営みの中で時代を超えて確実に受容されるのではなからうか▼例えば日本国憲法はご存じの通り、過去の深い反省から国民主権・平和主義・基本的人権の尊重を原則とし、幾度となく改憲が叫ばれつつも、国家の基本的秩序が曲げられることなく現代の日本人にもしっかりと受け入れられている▼また税制でも消費税や社会保障関係費などの引き上げが非常に逆進性を帯びていて、戦後の所得税や法人税を柱としたシャープ勧告が目まぐるしく行われている▼人はとく新しいものを求め欲迎するが、先人が社会的生態学の中から導き出した思想・志向は尊重して、今に活用することが望ましいと考える。「基本と原則に反するものは例外なく破綻する」とドラッカーは著書の中で述べている。

松尾の人口

男子 6,040人
女子 6,654人
計 12,694人
世帯数 4,626世帯
5月末現在



まけるな農園、スタート

家族や住民のふれあいと食の大切さを学ぶ機会になればと始まった「まけるな農園」。今年は2年目となる。

今年は落花生!



「農業体験・食育講座「まけるな農園」(公民館総務企画委員会主催)が3月26日、スタートした。参加者は前年度からの継続に加え、今年度はさらに15人多い参加希望者があった。子どもたちには嬉しい出席カードも用意された。松尾明にある休耕田を利用した畑は、12㎡。前年度は、サツマイモ・大豆・ポップコーン用とうもろこし・巨大カボチャを栽培した。収穫祭として、焼き芋大会、ハロウィンパーティー、豆腐作りなど盛りだくさんの行事も行われた。前年度も参加した小学校4年生女子は、「去年はいろいろな物を作って楽しかった。豆腐作りは初めてとても良かった」と話す。

5月14日は、ジャガイモの芽かきを行い、大きく育てている芽2本だけを残して他の芽を払った。さらに、今年度初めての落花生の種まきでは、親子がマルチをかぶせた約30畝の畝に並び、穴の中に2粒ずつ種を入れていった。

角田公民館長は、「昨年より参加者が増えて嬉しい。楽しいまけるな農園を盛り上げたい」と意気込んでいた。

若者男女新緑を歩く

代田区恒例の歩こう会が5月3日に開催された。2歳から80歳までの約130人が参加、代田公民館から竜丘桐林の万寿山公園と鈴岡城址公園を経由して松尾城址公園まで約10kmの道のりを歩いた。

出発式では、井上久美区長から「車社会で、今まで見てきたつもりでもよく見ていなかった新しい自然の感覚を体験してほしい」とのあいさつがあった。

うす曇りと黄砂の影響で遠くは山々がうすうすとした眺めの中、交通量の少ない緑豊かなコースに、自然

と会話が弾み駄科公民館でひと休み。

鈴岡城址公園から聞こえる太鼓の音を聞きながら休憩の後、11時に万寿山公園に到着した。早速昼食をとり、近くの散策や山菜採りに繰り出した。その後12時出発、20分ほどで鈴岡城址公園に到着した。

ここでは開園百周年記念式典が開催されており、獅子舞や太鼓、緑ヶ丘中学校の吹奏楽部による演奏が繰り広げられていた。百周年を機に遊具広場やトイレ、あずまや、駐車場などが整備され天竜川まで一望でき、



♪あ・る・こ・こ・あ・る・こ・こ 私は元気〜♪

生まれ変わった鈴岡城址公園に驚きの声が上がった。子供たちは様々な遊具に飛びつき、疲れを忘れて楽しんだ。広場の芝生ではパドミントンなどの遊びを楽しんだり、くつろいだりして自由な時間を過ごした。

竜丘地区の獅子舞を見学した後、松尾城址公園まで帰り解散となった。幅広い年齢層の参加により、好評のうち無事終了となった。

上溝区・元島田神輿会(澤口一男会長)は2基目となる区民による手作り神輿の製作を、6月5日にスタートした。当日は午後1時、上溝ふれあいセンターに会員30人が集まり、あらかじめ地元の大工さんが用意してくれた材料を、皆で設計図を見ながら、組み立てる作業を開始した。ポンド塗り・釘打ち・穴アケ・寸法どり、鋸で切ったり、サンドペーパーで磨いたり、手分けして慣れない手つきながら、作業は進んだ。この日は神輿の中心になる柱に台胴を取り付けた段階で作業は終了。どんな神輿に仕上がるのだろうか、各々が思いを巡らせていた。

神輿会では、19年前の平成4年に1基目となる手作り神輿を大工さんを始め、塗装、メッキ、電気、看板などの地元職人の協力で作った経緯

がある。しかし1基目は相当重量があり、近年になって屋間の地区内の渡御が、会員の年齢があがり神輿の重量がきつい状況になってきていた。そんな中で現在のものより、大きさ、重さを7割にした神輿を作ることが決定。作製委員会を発足し準備を進めてきた。

今後は、区・分館事業のない毎週日曜日の午後を作業に充て、8月末の完成を予定している。完成により、区の一層の団結とまとまりが期待される。



上溝区民の想いを込めて

平成23年度 公民館役員名簿

	分館長	副分館長	副分館長	分館専事	文化委員	体育委員	広報委員
上溝	桐生春人	佐々木浩	岡田静子	市瀬啓司	熊谷敏子	小川成実	福島 彰
久井	岡田 明	塩沢栄寿		松山美代子	塩澤秀明	宮田 治	金澤志保
水城	丸井勝久			野竹克彦	中村裕伸	勝又宏和	大平美和子
新井	吉本 薫			森本忠志	伊野 昇	矢沢訓人	○松原倫子
寺所	松島 清	渋谷宗宏		青山良一	坂下 勇	森下廣一	臼井秀明
明	田中孝寿	齋藤 徹	小倉 覚	飯島一夫	田中豊和	水上和男	木下剛亨
清水	吉川年治			福島 脩	松沢泰治	松村岳彦	佐々木寛雄
城	下井英一	塩沢 進	証 潤一	小笠原秀人	原 修	熊谷公雄	清水 稔
八幡	玉置茂樹	熊谷哲夫	塩沢正剛	水野邦夫	村松敏孝	後田昌人	○伊藤秀夫
代田	田中明生			平栗豊久	下平和夫	田中郁男	加藤 潔
毛賀	宮下英美			鈴木茂美	原田久男	木下 寛	伊藤武彦
常盤台	窪田利光			佐々木讓二	佐々木俊之	小沢由徳	中塚勝彦

館長委嘱							
文化	○丸山基治	○明石茂樹	○玉置すみ子	松村幸一	酒井和久	小木曾玲子	高橋宣明
体育	○速水正利	○小西淳子	○斎藤好雄	赤羽美恵子	平栗 理		
広報	○平澤淑子	平栗 猛					
企画	○丸山正敏	○平澤勇治	奥村和徳	伊藤俊光			
	塩澤一友	池田稔梨	福島由美子	丸山香織			
体育指導委員	田中利治	山中由美	竹下広志	三石陽次	◎委員長	○副委員長	

「まけるな農園」は、家族や住民のふれあいと食の大切さを学ぶ機会になればと始まった。今年は2年目となる。

5月15日(日)快晴の朝、「清水手作り公園の日」として、全戸参加の公園清掃が午前7時から行われた。草

5月15日(日)快晴の朝、「清水手作り公園の日」として、全戸参加の公園清掃が午前7時から行われた。草

この公園は「清水区民の皆さんに役立ててもらいたい」との気持ちで込め、今は故人である区内の平栗島宣義さんは、「初めは皆さんの理解を得るのに苦労したが、協力者の輪が広がって実現できた」と感慨深く語った。面積は駐車場も含め約2200平方メートル、ベタコン大

飯田市から立派なトイレを設置してもらった。平栗家の屋号を頭に付し「上清水公園」と命名した。故人の遺志を受け、公園作りに尽力した区長の一人である青島宣義さんは、「初めは皆さんの理解を得るのに苦労したが、協力者の輪が広がって実現できた」と感慨深く語った。面積は駐車場も含め約2200平方メートル、ベタコン大

草刈りに汗を流す

手作り公園の日

5月15日(日)快晴の朝、「清水手作り公園の日」として、全戸参加の公園清掃が午前7時から行われた。草

この公園は「清水区民の皆さんに役立ててもらいたい」との気持ちで込め、今は故人である区内の平栗島宣義さんは、「初めは皆さんの理解を得るのに苦労したが、協力者の輪が広がって実現できた」と感慨深く語った。面積は駐車場も含め約2200平方メートル、ベタコン大

会や夏祭りの会場として、区民のスポーツや憩いの場を提供している。また、月1回の清掃や日常のトイレ掃除も輪番で実施している。

まぢづくり委員会
各部長の紹介
今年度のまぢづくり委員会の各部長を紹介します

○総務部 酒井 淳 (久井)
○地域整備部 久保田和平 (久井)
○生活安全部 川尻 文夫 (代田)
○交通安全部 小池 昇 (寺所)
○環境衛生部 小林 弘明 (毛賀)
○健康福祉部 相原 正敏 (八幡町)
○公民館育成部 丸山 正敏 (久井)